

10 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

① 教育委員会運営費（教育総務課）

1 教育委員会の開催（13回開催）

《取扱議案》

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（平成22年度事業）
- (2) 平成24年度指導の重点について
- (3) 向日市立学校の校長・教頭の人事異動の内申について
- (4) 向日市文化財調査事務所管理運営規則の一部改正について
- (5) 向日市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
- (6) 向日市学校評議員の委嘱について
- (7) 向日市スポーツ推進委員の委嘱について
- (8) 向日市教育委員会事務局職員の人事異動について
- (9) 向日市社会教育委員の委嘱について
- (10) 平成25年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について
- (11) 向日市天文館管理運営規則の一部を改正する規則について
- (12) 向日市天文館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する訓令について
- (13) 向日市天文館管理運営規則の一部を改正する規則について
- (14) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（平成23年度事業）

10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行い、児童生徒の主体性、自発性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

2 教育相談事業

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（天文館、市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や家庭訪問による教育相談を実施した。

- ・ 来所教育相談件数（延べ201件）、電話相談件数（延べ47件）
- ・ 学校への巡回教育相談件数（9校×年3回で延べ96件）
- ・ 家庭訪問による教育相談件数（延べ32件）

10 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼稚園就園奨励費（教育総務課）

1 私立幼稚園児教材費補助事業（1人当たり補助金額40,800円）

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	21 人	856,800 円
3 歳 児	254	10,363,200
4 歳 児	318	12,974,400
5 歳 児	296	12,076,800
合 計	889	36,271,200

2 私立幼稚園就園奨励費補助事業（国庫補助事業）

補 助 の 範 囲	補 助 対 象 数	補 助 金 額
生活保護法の規定による保護を受けている世帯	1 人	198,000 円
市民税非課税世帯	67	13,546,700
市民税所得割非課税世帯	2	420,200
市民税所得割課税額が 77,100円以下の世帯	91	11,750,300
市民税所得割課税額が211,200円以下の世帯	520	43,412,500
合 計	681	69,327,700

3 私立幼稚園設備費補助金 540,000 円 （1園当たり 180,000円）

4 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 195,000 円 （1園当たり 65,000円）

5 私立幼稚園特別支援教育振興補助金

補 助 の 範 囲	1人当たり 補助金額	補 助 対 象 数	補 助 金 額
障がい児が3人以上在園している場合	98,000 円	10 人	980,000 円
障がい児が2人以下在園している場合	49,000	0	0
合 計		10	980,000

10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 安全対策

通学路の危険箇所33か所（緊急対策として7月に3か所追加配置）に交通指導員を配置し、交通安全指導を実施、さらに「交通安全反射電柱幕」を電柱等に設置した。

また、向日町警察署等の協力を得て、交通教室を開催するなど、交通道德の高揚に努めるとともに、1年全児童に「緊急用笛」を配布するなど安全対策に努めた。

3 就学指導委員会

(1) 目的

本市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談指導を行った。

(2) 委員構成 (38人)

市立小中学校教職員	22 人	医師	1 人
市立保育所職員	5	保健師	1
特別支援教育専門職	4	教育委員会事務局職員	2
市内幼稚園教職員	3		

(3) 相談指導件数 86 件

③ 学校給食管理費 (学校教育課)

1 学校給食 平成24年5月1日現在

学 校 名	給 食 実 施 児 童 数
向 陽 小 学 校	592 人
第 2 向 陽 小 学 校	580
第 3 向 陽 小 学 校	440
第 4 向 陽 小 学 校	546
第 5 向 陽 小 学 校	608
第 6 向 陽 小 学 校	408
計	3,174

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週3.5回

2 衛生管理

- (1) 給食室ねずみ害虫駆除業務委託
- (2) 給食室排水桝清掃業務委託

3 給食備品の整備

フードスライサー、食器消毒保管機、まな板包丁殺菌庫、保存食用冷凍庫等給食備品の配備

4 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

5 食中毒防止対策

- (1) 栄養士等給食関係従事者の検便検査の実施
- (2) 食材検査の実施

6 学校給食調理業務委託

学校給食調理業務委託実施 (全小学校)

④ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、ぎょう虫検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学時健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

⑤ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑥ 学校施設管理費（教育総務課）

1 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|---------------------|------------|-----------------------------|-------------|
| (1) 便器清掃業務 | (全校) | (15) 給食リフト保守点検業務 | |
| (2) 除草他業務 | (向小・4向小) | | (3・4・5・6向小) |
| (3) 学校管理業務 | (全校) | (16) プールろ過装置保守点検業務 | (全校) |
| (4) ごみ収集運搬業務 | (全校) | (17) 自家用電気工作物保安管理業務 | (全校) |
| (5) 臨時ごみ収集運搬業務 | (全校) | (18) 排水污水管清掃業務 | (2・5向小) |
| (6) 機械警備業務 | (全校) | (19) トイレ改修実施設計業務 | (2向小) |
| (7) 校庭整備（樹木剪定等）業務 | (6向小を除く全校) | (20) 中校舎耐震補強実施設計業務 | (向小) |
| (8) 樹木消毒業務 | (全校) | (21) 空気調和設備整備工事実施設計修正業務 | |
| (9) 放送設備点検業務 | (全校) | | (5・6向小) |
| (10) ガスヒーポン保守点検業務 | (全校) | (22) 空気調和設備整備及び耐震工事実施設計修正業務 | (2・3向小) |
| (11) 消防用設備等保守点検業務 | (全校) | (23) 北校舎改築工事監理業務 | (向小) |
| (12) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | (4向小を除く全校) | (24) 保健室等空気調和設備改修工事監理業務 | |
| (13) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) | | (6向小) |
| (14) 給水設備器具保守点検業務 | (全校) | (25) 仮設校舎等解体工事監理業務 | (向小) |
| | | (26) 体育館耐震補強工事監理業務 | (6向小) |

2 小学校施設整備工事

(1) 向陽小学校

- ・北校舎改築工事

(2) 第5向陽小学校

- ・空気調和設備整備工事（第1期）

(3) 第6向陽小学校

- ・保健室等空気調和設備改修工事
- ・体育館耐震補強工事
- ・空気調和設備整備工事（第1期）

10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

児童一人ひとりの障がいの状態と発達の状態を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。

また、第3向陽小学校と第6向陽小学校内に設けている通級指導教室の充実に努めた。

1 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	授業用時計模型、算数練習カード、日本地図パズル、バランスボール
第 2 向陽小学校	ジャンボゲームボール、ティーバッティングセット、書き込みサイコロ
第 3 向陽小学校	簡単ついたて、漢字パーク
第 4 向陽小学校	木製ゲーム、デザイン集セット、ターゲットプレイシート
第 5 向陽小学校	触覚ボール、タイムタイマー、ストレッチローラー、ピンボード
第 6 向陽小学校	移動五十音カード、三輪車、かるた

2 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
漢字イラストカード、バランス平均台、顔カード、デザイン集、配列絵カード

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	3 人	29,850 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	47	282,969
校外活動費（宿泊を伴うもの）	7	5,369
修学旅行費	4	65,220
給食費	47	930,441
合 計		1,313,849

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成24年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	634 冊	162 冊	10 冊	10,059 冊
第 2 向陽小学校	560	33	250	11,410
第 3 向陽小学校	489	150	10	8,054
第 4 向陽小学校	600	71	10	10,595
第 5 向陽小学校	461	47	60	11,071
第 6 向陽小学校	321	29	100	9,086
計	3,065	492	440	60,275

※ 購入冊数には、ふるさと納税寄附等による購入分599冊含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	簡易検流計、長座体前屈測定器、画用紙乾燥棚、版画作業版、ミシン、マイク
第 2 向陽小学校	ミシン、立体模型、スポンジマット、大三角定規、握力計、フラッシュカードセット
第 3 向陽小学校	ワイヤレスアンプ、体操マット、直流電流計、ゴール用ネット、大地図
第 4 向陽小学校	バスマリンバ、運動用マット、CDレコーダー、ハードル、体育実技DVD
第 5 向陽小学校	スポンジマット、軽量カラーマット、上皿自動はかり、ハードル、マイク、ホイッスル
第 6 向陽小学校	鉄製スタンド、糸鋸機、ミシン、長座体屈測定器、握力計、フラッシュカードセット

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	40 人	796,000 円
学用品費等	390	5,415,473
校外活動費（宿泊を伴うもの）	66	101,816
修学旅行費	73	1,151,177
通学費	3	54,080
給食費	390	15,876,638
医療費	55	401,939
合 計		23,797,123

4 府の委託事業

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究

指定校 向陽小学校

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。また、社会人講師の導入を図った。

1 特色ある学校づくり支援事業

児童の実態や地域の特色を踏まえた魅力ある学校づくりのため、児童・保護者・教員を対象に、講演会、研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

児童の創造活動を通して豊かな情操を養うために、小学生夏休み作品展を開催した。

10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 1年全生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

2 1年生生徒に心電図検査を実施

3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施

4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出

5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（教育総務課）

1 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|---------------------|--------|--------------------------|------------|
| (1) 便器清掃業務 | (全校) | (13) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) |
| (2) 除草・側溝清掃業務 | (勝山中) | (14) 排水污水管清掃業務 | (西ノ岡中) |
| (3) 学校管理業務 | (全校) | (15) 浄化槽維持管理業務 | (勝山中) |
| (4) ごみ収集運搬業務 | (全校) | (16) 給水設備器具保守管理業務 | (全校) |
| (5) 臨時ごみ収集運搬業務 | (全校) | (17) プールろ過装置保守点検業務 | |
| (6) 機械警備業務 | (全校) | | (西ノ岡中・寺戸中) |
| (7) 校庭整備（樹木剪定等）業務 | (西ノ岡中) | (18) 自家用電気工作物保安全管理業務 | (全校) |
| (8) 樹木消毒業務 | (全校) | (19) 武道場新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 | |
| (9) ガスヒーポン保守点検業務 | (全校) | 報告書作成業務 | (西ノ岡中) |
| (10) 消防用設備等保守点検業務 | (全校) | (20) 空気調和設備整備工事監理業務 | (全校) |
| (11) 放送設備点検業務 | (全校) | (21) 武道場建設実施設計業務 | (西ノ岡中) |
| (12) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | (全校) | (22) 仮設校舎等解体工事監理業務 | (勝山中) |

2 中学校施設整備工事

(1) 勝山中学校

- ・空気調和設備整備工事

(2) 西ノ岡中学校

- ・空気調和設備整備工事
- ・武道場新築及び体育館耐震補強工事（第1期）
- ・プールサイド改修工事

(3) 寺戸中学校

- ・空気調和設備整備工事

10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

生徒一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。

1 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	培土器、散水用具一式、調理器具
西ノ岡中学校	液晶テレビ、ソーシャルスキル絵カード、パズル
寺戸中学校	液晶テレビ、デジタルカメラ、磁石将棋セット、人生ゲーム

2 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	5 人	57,250 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	14	167,160
校外活動費（宿泊を伴うもの）	2	3,788
修学旅行費	2	111,060
体育実技用具費（柔道）	3	6,750
合 計		346,008

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書 of 整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成24年度末蔵書冊数
勝 山 中 学 校	597 冊	43 冊	250 冊	17,012 冊
西ノ岡中学校	403	20	30	10,637
寺 戸 中 学 校	438	58	10	11,841
計	1,438	121	290	39,490

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	鉄製スタンド、電気分解装置、理科実験用滑車、心臓蘇生訓練用人形、絵画作品乾燥棚
西ノ岡中学校	ガスバーナー、ピクチャーカード、コーラスCD、ストップウォッチ、大三角定規
寺戸中学校	液晶テレビ、簡易集塵機、地理DVD、アイロン、ミシン、スピーカーセット

3 吹奏クラブの充実を図るための楽器等の購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	アルトサクソフォン、トランペット、ハンディレコーダー、メトロノーム、譜面台
西ノ岡中学校	フルート、ボンゴ、バンドスタディDVD、教授用掛図（音階表・音楽と用語の記号）

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	80 人	1,832,000 円
学用品費等	237	5,843,991
校外活動費（宿泊を伴うもの）	38	143,944
修学旅行費	78	4,304,893
医療費	19	120,515
体育実技用具費（柔道）	62	278,490
合 計		12,523,833

5 文化芸術活動

弁論大会、英語スピーチ大会及び中学生美術展・書道展・剪画特別展を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

6 府の委託事業

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究

指定校 勝山中学校

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業やクラブ活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 特色ある学校づくり支援事業

生徒の実態や地域の特色を踏まえた魅力ある学校づくりのため、生徒・保護者・教員を対象に、講演会、研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 マーチングバンド備品購入

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部用に楽器等を購入した。

主 な 購 入 備 品 名

チューバ、フルート、バスドラム用キャリングホルダー、指揮台、マレット

10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

1 社会教育委員 8人（男4人、女4人） ※平成24年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日・会場	内 容
1	5月28日(月) 午前10時～11時40分 市役所 大会議室	・平成24年度社会教育関係事業計画について
2	8月29日(水) 午後1時30分～3時 市民会館第5会議室	・平成24年度社会教育関係団体に対する補助金の交付・計画について ・平成24年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について ・平成24年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について
3	11月8日(木) 午後1時～3時15分 市役所 第6会議室	・研修 プラネタリウム投影と文化財調査事務所作成DVD鑑賞と説明 ・平成24年度近畿地区社会教育研究大会参加報告について ・連絡事項 平成24年度京都府社会教育研究大会について
4	2月21日(木) 午前9時30分～11時30分 市役所 大会議室	・平成25年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について ・平成24年度社会教育関係事業報告について ・平成25年度社会教育の重点（案）について

3 各種研修会・大会

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6月15日(金) 午後1時30分～4時30分	野田川わーくパル	8人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6月28日(火) 午後1時30分～4時	長岡京市立中央公民館	8人
近畿地区社会教育研究大会 「兵庫大会」	9月7日(金) 午前10時10分～午後3時30分	神戸ポートピアホテル	6人
京都府社会教育研究大会	11月16日(金) 午前11時～午後3時30分	木津川加茂文化センター	7人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

さまざまな知識や技能など、自らの学習成果を市民の学習活動に役立てたいという熱意をもった方や団体に指導者として登録していただき、学びたいと希望されている市民に指導者を紹介した。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるように、広報活動等の支援を行った（合計15講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

市などが開催する生涯学習関連事業をより多くの市民に広報するため、生涯学習情報（前期・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を年間計3回発行した。

2 人権教育

人権研修会の開催

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため、研修会を2回開催した。

	開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
1	8月18日(土) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「同伴避難～ちいさな命と、ともに 生きるために～」	写真家 児玉 小枝さん	31人
2	12月22日(土) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「なぜ差別するのか～差別意識から 考える～」	花園大学 教授 八木 晃介さん	47人

3 各種講座・研修会

(1) 学校支援ボランティア交流講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
11月30日(金) 午前10時～ 正午	向日市民会館 第1会議室	講演 「子どもの『応援力』を磨く―地域、保護者、学校がそれぞれにできること―」	神戸大学大学院 准教授 山下 晃一さん	20人

(2) 学校支援ボランティア養成講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
12月4日(火) 午前10時～ 正午	向日市民会館 第5会議室	講演 「『この本、読んで!』をひろげよう―おはなし好きな子どもを育てるマル秘作戦―」	同志社大学 嘱託講師 脇谷 邦子さん	19人

(3) 家庭教育講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
11月7日(火) 午前10時～ 正午	市民会館 第1会議室	講演 「早寝・早起き・朝ごはんのススメ―すべての向日市民の健康づくりを目指して―」	京都府立大学大学院 教授 東 あかねさん	34人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

- ・市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) ジュニア・リーダー養成講座

ア 実施日及び内容

実 施 日	内 容	会 場
6月17日(日)	開講式、班分け、集団ゲームほか	市民会館第5会議室
7月28日(日)	飯ごう炊さん	第6向陽小学校野外炊飯施設
9月9日(日)	波の不思議について観察し実験してみよう	市民会館第5会議室
10月28日(日)	大地運動会	向陽小学校体育館
12月9日(日)	調理実習・ゲーム	市民会館第5会議室・調理実習室
2月3日(日)	アルバム作り	市役所第6会議室
3月10日(日)	閉講式	市民会館第5会議室

イ 参加者 市内の小学5・6年生 22人
市内の中学生 2人

(2) 京のまなび教室推進事業（放課後児童サポート事業）

全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保し、特に、低学年児童の安全確保を第一に考え、授業終了時刻から下校時刻までの時間に、低学年児童が学校で友達と自由に遊びながら、体力づくりや仲間づくりをすることによって、心身ともに健康な児童を育てるよう実施した。

- ア 開催回数 実施回数 147回
- イ 会場 市内全小学校
- ウ 内容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書館での読み聞かせ、特別講師によるプログラムなど
- エ 指導者 アドバイザー、安全管理員
- オ 対象者 1～2年生児童

(3) 学校支援地域本部事業

実行委員会を中心として、地域住民や保護者、地域ボランティアなどの知識や経験、能力、技術を子どもの成長や学校の教育に生かせるようコーディネートし、地域全体で子どもが健やかに育まれる環境づくりと地域の教育力の向上を目指して実施した。

- ア 実施場所 第2向陽小学校、第3向陽小学校
- イ 実行委員会 22人（男9人、女13人）
- ウ 内容 学習支援活動、部活動指導、読書活動支援、環境整備など

(4) 野外炊飯施設使用状況

使用回数 (単位：回)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	1	2	1	1	1	—	—	1	—	2	—	—	9

(5) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

- ア 実施日 平成25年3月20日（水・祝）
- イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部
西ノ岡中学校吹奏楽部
寺戸中学校吹奏楽部・マーチングバンド部
京都府立向陽高等学校吹奏楽部
京都西山高等学校吹奏楽部
ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実施日	内 容
学校の長期休業日	地区ごとに夜間パトロール（8月4日市内一斉パトロール）190人参加 各支部パトロール述べ916人参加
随 時	重点地区パトロール

(2) 環境浄化活動

青少年を取り巻く地域環境の浄化について、京都府を主体に関係団体が協力、連携して書店やレンタルビデオ店、カラオケ店等の実態を調査し、青少年の健全育成への理解と協力を求めた。

また、自販機等の調査については、京都府環境浄化推進員が随時行った。

主な取組

実施日	内容
7月24日(火)	少年を非行から守る全国強調月間として環境浄化立ち入り調査を実施(12人) 市内の書店、ビデオ店、コンビニ店、携帯電話販売店など5か所を対象に実態調査

(3) 啓発活動

夏・冬・春休みなどにチラシ、ポスターを作成・配布した。また、啓発活動を随時実施した。

(4) 子ども会育成者説明会 (総会時)

ア 実施日 平成24年5月12日(土)

イ 会場 市民会館第1会議室

ウ 内容 向日市子ども会の概要、子ども会関係団体について、生涯学習課主管事業について

3 成人式

(1) 実施日 平成25年1月14日(月・祝)

(2) 会場 市民会館ホール

(3) 内容 記念式典、小学校との交流

(4) 出席者 成人 359人(対象者480人) 来賓 40人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会 400,000円

(2) 向日市少年補導委員会 500,000円

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会 200,000円

(4) 物集女青少年健全育成会議 20,000円

10 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費(中央公民館)

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

講座

事業名	実施日(期間)	参加対象・人数	講師・指導者	内容
教養講座 (趣味)	6月29日(金)	市民成人 26人	中央公民館サークル 向日フォトクラブ の皆さん	「デジカメ入門教室」 ・デジタルカメラの基礎知識(基礎的用語、カメラの構図) ・カメラの撮影実習
高齢者生き生き講座第1講	7月6日(金)	60歳以上の 市民 33人	N T Tドコモショップ向日店の皆さん	「高齢者のためのスマートフォン入門セミナー」 ・タブレットの特徴と基本機能(インターネット検索、動画を見る、電子書籍を読む カメラを使う、写真を見る等) ・アプリを使って(地図の活用)
夏休み子ども体験講座	7月26日(木)	小学校 全学年 と保護者 46家族 147人	J R西日本吹田総合車両所京都支所の皆さん	「J R西日本吹田総合車両所京都支所見学会」 夏休み期間を利用し、J R西日本京都総合運転所の業務内容(仕業点検、洗車等)を特別列車から見学しました。
夏休み子ども体験講座	8月9日(木)	小学 4～6年生 39人	オムロンヘルスケアの皆さん	「オムロンヘルスケア本社見学会」 ・施設にある省エネ設備の見学 ・実験(体温計のしくみ、耳式体温計「けんおんくん」の分解)
高齢者生き生き講座第2講	8月21日(火)	60歳以上の 市民 16人	資生堂販売京都支店の皆さん	「高齢者のためのビューティーセミナー」 ・スキンケアの4つの機能と基本ケア ・メーキャップイメージ
健康講座 (食物)	9月19日(水)	市民 16人	京都府立大学教授 椎名 隆さん	「明日への食卓 ー遺伝子組換え食品と有機農業ー」 ・人類の地球資源の使用状況 ・農業の現状と将来について ・持続型農業を目指す有機農業技術 ・遺伝子組換え作物の現状
高齢者生き生き講座第3講	9月25日(火)	60歳以上の 市民 5人	中央公民館サークル シンポ、ペン習字、 太極拳他の皆さん	「公民館クラブ・サークル体験セミナー」 ・クラブサークル活動報告 (シンポクラブ) ・クラブ・サークル体験(そば打ち、 太極拳、写仏、ペン習字)
教養講座 (趣味)	10月25日(木)	市民 83人	京都西山短期大学教授 島袋 章さん	「童謡・唱歌の世界」 ～歌の歴史・由来とともに、 みんなで歌いましょう～ ・唱歌の目的、芸術性について ・童謡の誕生、唱歌との違い ・合唱(蝶々、花、故郷、朧月夜、われは海の子、七つの子、赤とんぼ等)

市民教養講座 (情報)	1月25日(金)	概ね50歳以上の市民 午前 15人 午後 14人	N T T ドコモショップ 向日店の皆さん	「シニアのためのスマートフォン入門教室」 ・自分の声やキーボードでインターネット検索 ・YouTubeで好きな画像を見る。 ・地図で目的地を探す。
ふしぎ発見！ 理科教室 (5回)		小学校4 ～6年生		理科好きの子どもを育成するため、 国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学んだ。
	①6月2日(土)	28人	京都技術士会 竹内 篤雄さん	「地震はどうして起きるの?」
	②6月16日(土)	32人	京都技術士会 千田 琢さん	「コイルのふしぎ」
	③8月4日(土)	30人	京都技術士会 川嶋 眞生さん	「自分だけのマンガン電池を作ろう」
	④8月8日(水)	29人	京都技術士会 深田 晃二さん	「騒音をなくすために
	⑤9月15日(土)	32人	京都技術士会 末利 鏡意さん	「電気を作ろう!」
市民健康講座 (医学)	1月17日(木)	市民 24人	京都府立医科大学 大学院医学研究科 歯科口腔科学 講師 山本 俊郎さん	「口腔ケアについて —歯周病を予防するために— ・歯周病とは ・口腔ケア、口腔管理の重要性 ・口腔ケアの実際
国際理解講座	1月31日(木)	市民 16人	京都府名誉友好大使 マーリシェヴァ オーリガ さん	「ウクライナと日本」 ・ウクライナの概要 ・産業について ・ウクライナ語について ・宗教について ・民族衣装について ・料理について
子育て応援講座	3月8日(金)	市内小中学校の保護者 14人	京都教育大学 大学院連合教職実践 研究科 教授 小松 茂さん	「海外から見た 日本の子育て・日本の教育」 ・海外で暮らす義務教育段階の子ども ・日本人学校の設置・運営 ・マレーシアについて ・クアラルンプール日本人学校について ・教育活動について ・日本の教育、社会を見直す ・今の日本社会は、便利になっていて、 会話がなくても暮らしていける。
市民文化展	11月17日(土) ～18日(日)	市民、在勤 在学15歳以上 出品者136名 来場者398名		市民の創作による作品を展示・発表する場を提供し、文化活動の活性化を図ることを目的として実施した。

2 中央公民館グループ活動

(1) クラブ・サークル数 24クラブ 部員数 654人

(2) 学習発表会

会場	実施日	内 容	クラブ数
中央公民館	平成25年 2月23日(土) 2月24日(日)	【展示・掲示発表】 油絵、日本画、書、ペン習字、 写真、生花、そば打ちの実演	9クラブ 出品点数 184点
市民会館 ホール	平成25年 3月3日(日)	【舞台発表】 合唱・合奏、舞踏、体操 民謡、ダンス、太極拳	15クラブ 中央公民館 8 地区公民館 7

3 中央公民館室別利用状況

(単位：回、人)

室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	第5会議室	第6会議室	料理実習室	和室	計
利用回数	194	111	40	75	197	25	37	73	752
利用人数	4,686	2,429	1,139	1,457	3,870	67	546	904	15,098

10 教育費 4 社会教育費 3 地区公民館費

① 地区公民館費（中央公民館）

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

講 座

公民館名	内 容	実施日	参加者数	講師・指導者
寺 戸	教養講座 「サプリメントとの上手なつきあい方について」	6月21日(木)	36人	京都府立大学生命環境科学研究科 教授 佐藤 健司 さん
	剪画教室 「剪画による布うちわ・夢うちわ作り」	8月2日(木)	27人	日本剪画協会 大月 透 さん
	健康講座 「太極拳を体験する」	10月24日(水)	10人	悠久太極拳クラブ 塩貝 久雄 さん
	園芸講座 「寄せ植えを楽しむ」	12月5日(水)	35人	中山 加奈子 さん
物集女	手芸講座 「クリスマス・ステンドグラス講習会」	11月21日(水)	20人	江島 美恵 さん
森 本	健康講座 「低体温と冷え症対策について」	11月29日(木)	42人	戸田 裕美 さん
鶏冠井	園芸講座 「グリーンリース&正月飾り」	12月14日(金)	20人	島 せつ子 さん
上植野	金箔手工芸講座 「色紙に金箔で干支を描く」	12月3日(月)	21人	宍戸 悦子さん

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

(単位：クラブ、人)

公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
クラブ数	45	7	13	9	9	83
部員数	644	109	181	98	109	1,141

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表

公民館名	実施日	展示・掲示発表 クラブ数	展示・掲示発表 出展者数	展示・掲示発表 出展品数
寺戸	2月2日(土)・3日(日)	12クラブ	125人	271点
物集女	1月26日(土)・27日(日)	7	29人	69点
森本	2月9日(土)・10日(日)	6	71人	89点
鶏冠井	2月16日(土)・17日(日)	9	72人	213点
上植野	2月16日(土)・17日(日)	4	36人	112点

3 地区公民館使用状況

(単位：回、人)

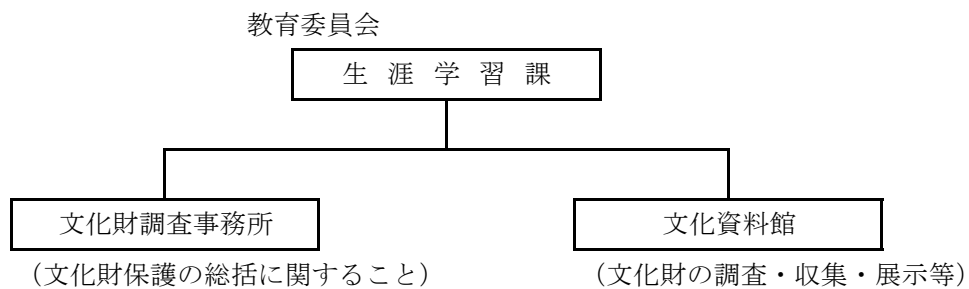
公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
利用回数	1,587	526	533	341	339	3,326
利用人数	19,756	7,503	8,910	4,482	3,931	44,582

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文化財調査事務所）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 文化財保護の体制



2 市域に所在する指定文化財等

平成25年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			文化的景観	伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物				
		件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料										
				仏像	石造物														
国	指定	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	登録	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
府	指定	2	3	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27
合計		11	12	7	1	3	7	12	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0	50

3 有形文化財の保護と防火防犯

(1) 重要文化財向日神社本殿ほか建造物測量業務

ア 目的 建造物の測量及び古建築物の保存と、文化・観光資源の充実を図る。

イ 期間 平成24年6月29日～平成25年3月28日

ウ 内容 境内に所在する建造物の詳細測量等を実施する。

(ア) 本殿ほか22棟の実測

(イ) 境内建物配置図の作成

(ウ) 各棟詳細写真撮影

(エ) 各棟建築年代等評価

(オ) その他

エ 金額 6,930,000 円

(2) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

ア 期間 平成25年1月23日～平成25年1月29日

（平成25年1月26日は、「第59回文化財防火デー」）

イ 内容 社寺等に対する防火設備等検査、防火運動広報等

(ア) 期間中、広報誌にて啓発。市役所庁舎前、乙訓消防組合各庁舎及び市内社寺にて看板を設置

(イ) 平成25年1月24日に、向日神社をはじめ南真経寺、北真経寺等の国指定、京都府指定・登録文化財の建造物に立入検査し、消防設備の点検及び防火に対する広報を実施した。

(ウ) 平成25年1月27日

乙訓消防組合の主催により、向日神社において文化財消防訓練を実施した。

（向日神社及び同社氏子、向日消防署、向日市消防団、向日市教育委員会等、参加者約50人）

ウ その他

防火・防犯の徹底の呼びかけ、文書案内等 2回/年

(3) 文化活動等への補助

- ア 目的 有形文化財を活用した文化活動の振興を図る。
- イ 交付先 国登録有形文化財 中小路家住宅
- ウ 補助額 40,000 円

(4) 維持管理等への補助 向日市文化財保護事業補助金事業

- ア 目的 有形文化財の維持管理等を図る。
- イ 内容 市内に所在する個人及び法人等が所有する指定・登録文化財の維持管理経費の一部を補助する。
- ウ 交付先等
 - (ア) 向日神社本殿（国指定文化財） 防災設備維持管理等 124,000円
 - (イ) 須田家住宅（府指定建造物） 防災設備維持管理等 24,000円
 - (ウ) 南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物） 防災設備維持管理等 19,000円

4 無形民俗文化財の保護と後継者育成

(1) 補助金の交付

- ア 団体名 京都府指定無形民俗文化財 鶏冠井題目踊
- イ 目的 各種活動及び後継者の育成を図る。
- ウ 金額 35,000 円

5 記念物の保護

(1) 史跡

史跡長岡宮跡一覧表

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史跡の所有形態							整備状況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大極殿・小安殿地区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・秋所	0.00	2,510.61	242.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2,752.64	2,752.64	0.00	0.00	2,752.64
	内裏内郭築地回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築地地区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝堂院西第四堂地区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝幢地区	平成11年1月14日		秋所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	閤門地区	平成14年3月19日		秋所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	閤門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日		秋所・山畑 南開	0.00	0.00	1,213.87	0.00	0.00	572.79	0.00	1,786.66	922.34	0.00	864.32	1,786.66
	大極殿東面回廊地区	平成22年2月22日	鶏冠井町	秋所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
計					323.96	3,676.59	5,967.22	0.00	0.00	1,225.77	0.00	11,193.54	8,328.66	741.74	2,123.14	11,193.54

上記の表のとおり、平成24年度末現在の史跡面積は11,193.54㎡である。

(2) 史跡長岡宮大極殿・小安殿保全整備工事

ア 目的 老朽化や、隣接地との境界施設が不十分なことによる雨水流出を修復し、適正な維持管理と史跡の活用を推進する。

イ 期間 平成24年4月10日～平成25年3月31日

ウ 内容 境界管理施設の設置等、史跡の環境整備を図るための、保全整備工事を行った。

エ 金額 総事業費 10,538,277円

主な経費

(ア) 工事測量・実施設計業務 2,205,000円

(イ) 整備工事監理業務 675,150円

(ウ) 史跡保全整備工事 7,481,250円

(エ) 整備事業報告書印刷製本 153,300円 (報告書刊行事業に再掲)

(3) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

市内の遺跡には、国指定史跡が8か所、府指定史跡が1か所、市指定史跡が2か所存在する。

また、寺戸大塚古墳や森本遺跡など史跡に準ずる未指定の貴重な遺跡も存在する。

これらの遺跡の保存・保護について、除草等が必要なものについて(公社)向日市シルバー人材センター等に委託し、各種の維持管理事業を実施した。

ア 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

文化財案内員を配置、史跡の管理、案内等を行った。

利用者数 (案内員が説明した人数)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	月	稼働日数	利用者数	1日平均
4月	30日	678人	22.60人	10月	31日	309人	9.97人
5月	31日	1,051人	33.90人	11月	30日	452人	15.07人
6月	30日	431人	14.37人	12月	21日	197人	9.38人
7月	31日	160人	5.16人	1月	25日	205人	8.20人
8月	22日	147人	6.68人	2月	28日	1,113人	39.75人
9月	30日	167人	5.57人	3月	31日	947人	30.55人
				計	340日	5,857人	17.23人

平成22年度 3,702人

平成23年度 6,691人

平成24年度 5,857人 累計 16,250人

イ 史跡長岡宮跡：築地公園地区

遺跡復元地の美観を保つための除草業務(年2回)、生け垣刈込み業務(年1回)を委託した。□

ウ 史跡長岡宮跡：宝幢跡地区

遺跡復元地及び買上地の美観を保つための除草業務(年3回)を委託した。

エ 府史跡物集女車塚古墳公園

遺跡保全整備地の美観を保つための清掃業務（年20回）、植栽への夏期散水業務（6回）を委託した。

オ 長岡宮跡：朝堂院西方官衙

遺跡の現状を維持するための除草業務（年2回）を委託した。

カ 史跡長岡宮跡：閤門地区

遺跡の美観を保つための除草業務（年3回）を委託した。

キ 寺戸大塚古墳

寺戸大塚古墳後円部の美観を保つための除草・タケノコ除去業務（年4回）を委託した。

6 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知審査及び各種の調査を実施した。

ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 51 件

イ 建築確認申請に係る文化財審査 233 件

ウ 届出書受理件数 166 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）

エ 通知書受理件数 12 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）

オ 発掘調査件数 15 件 2,106.70 m²
（「平成24(2012)年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）

カ 工事立会件数 147 件

※ オ、カの業務は、教育委員会の指導と委託により、（公財）向日市埋蔵文化財センターにおいて実施した。

(2) 埋蔵文化財の保存と整備

埋蔵文化財の保存と各種の調査、整理・報告、広報・普及、資料収集等を実施した。

ア 国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業 17,430,000 円

イ 向日市単独事業 2,100,000 円

ウ 原因者負担金事業 21,969,124 円
（教育委員会の指導により、（公財）向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託）

エ 平成24年度埋蔵文化財調査

(7) 埋蔵文化財発掘調査地一覧表

平成24 (2012) 年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
	遺跡名	調査回数	調査地	原因者 (土地所有者等)	調査期間	面積 (㎡)	出土 遺物数 (箱)	備考
1	渋川遺跡	第15次	寺戸町東田中瀬	法人開発	12.06.18～12.07.27	140.00	3	
2	長岡宮跡	第490次	鶏冠井町大極殿	向日市 (範囲内容確認)	12.07.17～12.08.31	59.40	10	※
3	長岡宮跡 元稲荷古墳	第491次 第9次	向日町北山 (元稲荷古墳)	向日市 (範囲内容確認)	12.07.23～12.09.28	130.00	1	※
4	長岡宮跡 元稲荷古墳	第497次 第10次	向日町北山 (元稲荷古墳)	向日市 (範囲内容確認)	13.01.21～13.03.08	62.00		※
5	長岡宮跡	第492次	寺戸町中野地内	向日市 (範囲内容確認)	12.08.01～12.11.08	350.00	4	※※
6	長岡宮跡	第493次	寺戸町南垣内	法人開発	12.09.10～12.10.05	156.00	1	
7	長岡宮跡	第494次	寺戸町向畑	法人開発	12.09.24～12.10.30	191.35	4	
8	長岡宮跡	第495次	寺戸町殿長	法人開発	12.10.18～12.11.08	114.20	2	
9	長岡宮跡	第496次	寺戸町向畑	向日市 (範囲内容確認)	12.10.20～12.10.30	22.00	1	※
10	長岡京跡	左京第550次	上植野町菱田	向日市 (範囲内容確認)	12.06.25～12.07.10	45.00	1	※
11	長岡京跡	左京第551次	鶏冠井町極楽寺、上植野町 尻引・柳ヶ町	向日市 (範囲内容確認)	12.07.17～12.08.10	270.00	3	※
12	長岡京跡	左京第552次	鶏冠井町極楽寺、上植野町 尻引・柳ヶ町	法人開発	12.10.09～12.11.09	215.75	6	
13	長岡京跡	左京第555次	上植野町落堀	向日市 (範囲内容確認)	12.12.03～12.12.27	45.00	7	※
14	長岡京跡	左京第556次	上植野町泰田	法人開発	13.01.10～13.02.07	178.00	7	
15	長岡京跡	右京第1048次	上植野町切ノ口	法人開発	12.08.20～12.09.14	128.00	1	
合計						2,106.70	51	
						一発掘調査あたりの平均	140.45	3.4

※ : 国庫補助対象事業

※※ : 京都府緊急雇用創出事業

無印 : 民間開発等原因者負担金による事業(市公共事業を含む)

(イ) 発掘調査面積は、一件平均140.45㎡である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第96集』 300冊 [埋蔵文化財発掘調査事業]

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第97集』 300冊 [緊急雇用創出事業]

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第98集』 300冊 [史跡保存整備事業]

(公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託等を行った発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 緊急雇用創出事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務

ア 目的 埋蔵文化財発掘調査を実施し、遺跡の保存と活用を図る。

イ 調査期間 平成24年8月1日～平成24年11月8日

ウ 場所 向日市寺戸町中野 地内

エ 内容 埋蔵文化財発掘調査

(7) 調査面積 350.0㎡

(イ) 整理報告 報告書印刷製本ほか (報告書刊行事業に再掲)

オ 金額 20,207,250 円

(5) 出土遺物保存処理・維持管理事業、埋蔵文化財調査出土遺物整理分類事業

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存処理事業

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した木製品や金属器の変形や腐食を防ぎ、向日市文化資料館等で展示・活用できるよう、遺物の科学的保存処理を実施した。

(イ) 点数 木製品 65点 (長岡京跡出土木簡)

(ウ) 出土地 向日市鶏冠井町沢ノ東地内ほか

(エ) 委託先 京都府立山城郷土資料館

(オ) 処理方法 溶剤、樹脂含浸法

(カ) 委託料 2,600,000 円

イ 出土遺物整理業務

(ア) 目的 文化財調査出土遺物を整理し、収蔵庫の管理をする。

(イ) 期間 平成24年6月11日～平成25年2月28日

(ウ) 内容 出土遺物のランク分け及び台帳・目録の作成等

(エ) 金額 315,000 円

7 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓2市1町の教育委員会、(公財)向日市埋蔵文化財センター、(公財)長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成し、連絡を図る。平成24年度は、向日市教育委員会が代表幹事を務めた。

(2) 協議会

ア 第1回協議会(平成24年5月18日(金))

(ア) 平成23年度事業報告及び決算報告について

(イ) 平成24年度事業計画及び予算について

(ウ) スライドでみるおとくへの発掘の開催日程について

(エ) 埋蔵文化財アルバイト従事者の単価について

(オ) 埋蔵文化財発掘調査、工事立会経費と単価について

イ 第2回協議会(平成24年10月5日(金))

(ア) スライドでみるおとくへの発掘について

(イ) 埋蔵文化財発掘調査、工事立会経費と単価について

(3) 「スライドでみる乙訓の発掘」展

ア 開催日 平成25年3月3日(日)

イ 場所 向日市文化資料館 研修室

ウ 内容

(ア) 特別報告 乙訓地域の古墳時代の集落と首長墓

(イ) スライド報告

a 元稲荷古墳とその出現の背景

b 寺戸大塚古墳とその調査成果

c 鳥居前古墳の成立とその前史

d 井ノ内車塚古墳と周辺の古墳

エ 参加者

市民等 200人

8 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金
史跡長岡宮跡・埋蔵文化財活用業務

イ 開催日 平成24年5月22日(火)～平成24年5月27日(日)

ウ 場所 物集女車塚古墳

エ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護愛護の精神を深める。

オ 見学者 見学者582人 1日平均97人

カ その他 一般公開日以外も、見学を希望する団体には臨時に石室を公開して、説明を実施した。
4団体 124人

番号	臨時公開日	団体名	見学者数
1	平成24年4月6日(金)	京都府立大学文学部歴史学科	25人
2	平成24年6月12日(火)	向日市立第3向陽小学校	83人
3	平成25年2月4日(月)	(公財)海外日系人協会	6人
4	平成25年2月21日(木)	向日市立小中学校長会	10人
	計		124人

(2) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出等

8機関等に 277点を貸出し

番号	機関名等	点数	備考
1	龍谷大学文学部	4点	博物館実習「十二月展」に展示
2	たたら研究会	46点	長岡京跡出土金属生産関連遺物
3	亀岡市文化資料館	3点	企画展「ごみを捨てるべからず」出展
4	小松市	1点	「図説 こまつの歴史」掲載写真のネット配信のため
5	大阪歴史博物館	4点	常設展示「都市おおさかの歩み【難波宮の時代】」に出展のため
6	京都府立山城郷土資料館	2点	企画展「京と発掘だより2012」に展示
		3点	常設展「南山城の歴史と文化」に展示
7	(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	2点	「第27回小さな展覧会－平成23年度京都府内遺跡発掘調査成果速報－」に展示
8	(公財) 向日市埋蔵文化財センター	89点	成果展「3100年前のタイムカプセル」出展
		2点	考古学講演会の教材として
		16点	長岡京連絡協議会資料報告で使用
		23点	「7.27ふれてみようわが町の歴史」出展
		19点	「向陽小学校秋まつり2012」出展
		24点	「向日市民まつり」出展
計		277点	

イ 写真資料提供、転載等 3機関等に 9点を提供

番号	機関名等	点数	備考
1	(株) 山川出版社	3点	「日本史リブレット11 桓武天皇」に掲載
2	龍谷大学文学部	4点	博物館実習「十二月展」に展示
3	亀岡市文化資料館	2点	企画展「ごみを捨てるべからず」図録掲載
計		9点	

ウ 資料見学等

5機関等に 89点の資料調査に対応

番号	機関名等	点数	備考
1	龍谷大学文学部	25点	「十二月展」に係る資料調査
2	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館	28点	特別展「比羅夫が行く－飛鳥時代の武器・武具・いくさ」出展
3	個人	30点	研究資料
4	滋賀県立大学人間文化学部	1点	卒業論文作成
5	白山市教育委員会	5点	調査報告書作成のための資料調査
計		89点	

(3) 市民考古学講座

- ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金
史跡長岡京跡・埋蔵文化財活用業務
- イ 目的 長岡京跡をはじめ市域に所在する遺跡や歴史・文化遺産への理解を深める。
- ウ 内容 参加者が本市の文化財案内人やサポーターとしても活躍できる内容で開催した。
- エ 業務 (公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託
- オ 内容

テーマ		開催日 開催地等	内容	参加者
1	「遺跡と災害環境」 講師 高橋学氏 (立命館大学大学院教授)	平成24年6月30日(日) 向日市民会館	講演会	28人
2	「遺跡と防災環境」 講師 釜井俊孝氏 (京都大学防災研究所)	平成24年7月8日(日) 向日市民会館	講演会	25人
3	「先史時代の遺跡と環境」 「縄文・弥生時代の集落と環境選択」 講師 森岡秀人氏 (日本考古学協会理事) 「乙訓地域の縄文・弥生時代遺跡と環境」 講師 國下多美樹氏 (龍谷大学特任教授)	平成24年9月16日(日) 向日市文化資料館	講演会	52人
4	「歴史時代の遺跡と環境」 「遷都前後の歴史環境－平城京を中心に－」 講師 館野和己氏 (奈良女子大学教授)	平成24年11月10日(土) 向日市文化資料館	講演会	41人
5	「地震考古学の世界へようこそ」 講師 寒川 旭氏 (産業技術総合研究所招聘研究員)	平成24年12月2日(日) 向日市民会館	講演会	59人
計				205人

(4) 向日市の文化・歴史資産、観光資源パノラマビュー作成業務

- ア 事業名 京都府緊急雇用創出事業
- イ 目的 多様で豊かな歴史・文化遺産等を活用し、文化振興とともに観光振興など活性化のため
- ウ 期間 平成24年7月31日～平成25年3月22日
- エ 内容 散策体験システムと映像の作成
- オ 金額 15,491,700円

9 文化財保護団体の育成

市内に所在する文化財保護団体の育成のため、その活動費の一部を補助した。

各種文化財保護団体補助

ア	大極殿遺跡保存協賛会	40,000円
イ	森本遺跡保存会	19,000円
ウ	物集女城を考える会	19,000円
エ	鶏冠井シャナンボウ保存会	35,000円

10 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

(単位：人)

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）									
	24年度						23年度	22年度	21年度	20年度
	1年	2年	3年	4年	5・6年	合計				
第1	25	27	18	9	0	79	89	97	92	98
第2	28	29	11	8	0	76	76	64	92	107
第3	21	16	17	9	0	63	53	50	51	64
第4	35	28	13	16	1	93	99	95	105	103
第5	25	29	31	15	1	101	107	111	121	122
第6	12	15	13	0	0	40	42	40	35	37
合計	146	144	103	57	2	452	466	457	496	531

留守家庭児童会保護者協力金調定額 (現年度分)	平成24年度 26,463,100円	平成23年度 26,808,000円	平成22年度 26,737,800円	平成21年度 28,276,600円
----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

留守家庭児童会	指導員・嘱託指導員数	アルバイト数（加配）	施設	
第1	3人	3人	鉄骨造	297.00㎡
第2	4	4	〃	160.58
第3	3	1	〃	167.59
第4	4	4	〃	200.81
第5	4	6	〃	287.67
第6	3	1	〃	106.00
合計	21	19		

(平成24年5月1日現在)

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、実技を含めた研修会を実施した。

実施日	研 修 内 容	活 動 場 所
5月16日	自動体外式除細動器（AED）の使い方について	向日消防署
9月26日	レクリエーションの方法について	市民会館
10月3日	緊急時の応急手当について	市民会館
11月7日	「早寝早起き朝ごはんのスズメ」（家庭教育講座に参加）	市民会館
1月18日	障がい児の育成について	市民会館
1月23日	防犯訓練	第1留守家庭児童会

10 教育費 4 社会教育費 6 図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ・廃棄状況

(1) 図書・聴覚資料

(単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	C	D	カセット	レコード	合 計
購 入	2,887	1,508		62	0	0	4,457
寄 贈	233	61		4	6	0	304
そ の 他	41	19		1	0	0	61
廃 棄	1,043	305		38	24	0	1,410
合 計	2,118	1,283		29	△ 18	0	3,412

(2) その他の資料

	雑 誌 (種)	雑 誌 (冊)	新 聞 (種)
購 入	61	821	8
寄 贈	2	14	2
合 計	63	835	10

2 資料所蔵状況

(1) 図 書

(単位：冊)

	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
総 記	3,807	431	4,238
哲 学 ・ 宗 教	3,744	239	3,983
歴 史 ・ 地 理	11,959	1,687	13,646
社 会 科 学	17,893	1,077	18,970
自 然 科 学	7,167	3,144	10,311
技 術 ・ 家 政 学	8,505	1,043	9,548
産 業	3,243	529	3,772
芸 術 ・ ス ポ ー ツ	9,578	1,283	10,861
言 語	1,900	396	2,296
文 学	18,073	16,555	34,628
近 代 小 説	25,124		25,124
外 国 の 本	603	129	732
絵 本		16,593	16,593
紙 芝 居		1,290	1,290
合 計	111,596	44,396	155,992

(2) 聴覚資料 (単位：点)

資料名	所蔵数
C D	4,204
カセットテープ	1,211
レコード	18
合計	5,433

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数 (単位：冊、点、日)

合計	一般図書	児童図書	雑誌	聴覚資料	他館借用資料	開館日数	平均		
							1日当たり	土日	祝日
334,667	169,842	133,195	10,576	19,853	1,201	280	1,195	1,597	1,203

(2) 貸出者数 (単位：人、日)

合計	一般	児童	開館日数	平均		
				1日当たり	土日	祝日
86,449	72,890	13,559	280	309	390	290

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

- ア レファレンス 176件
- イ コピー 5,841枚 (うちカラー169枚)
- ウ 予約 18,888件
- エ 他館との資料の相互貸借 貸出し 788件 借用 1,397件
- オ 障がい者サービス ライトハウスからカセットテープを借用し提供 166巻
自宅配本 26回 31点
- カ 外部データベース・インターネット 利用件数 619件

(4) インターネットホームページの運営・管理

ア アドレス <http://www.library.muko.kyoto.jp/>

イ 内容

- (ア) 図書館資料の検索
- (イ) 図書館利用案内と各種お知らせの掲載
- (ウ) インターネット予約 (インターネット予約件数 年間12,115件)
- (エ) 貸出期間の延長
- (オ) 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応

4 施設の維持管理等

通常の管理のほかに、次の施設・設備について修繕をした。

- (1) 図書館業務放送設備緊急修繕
- (2) スピーカー配線アース修繕
- (3) 防火戸点検口壁面修繕
- (4) 玄関電子誘導チャイム修繕
- (5) スポットライト取替修繕

5 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 25人
 活動 本の修理 延べ 421人、1,789冊を修理
- (2) きっず・らいぶらりー 13人
 活動 おはなしひろば 8回開催 参加人数 子供 207人 大人 131人
 打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 156人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 6人
 4回開催 参加人数 74人

③ 読書推進事業費（図書館）

事業名・テーマ	開催日	参加人数	内容
渡邊武コレクション 《常設展示》	平成24年4月～ 平成25年3月	来館者	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて展示した。
文学講座 「涙の『枕草子』、 憂愁の『源氏物語』」	平成25年 3月5・12日	受講者 112人	平安時代を代表する女流文学作品が生まれた貴族の暮らし、作者の身の上や心情を切り口に、二つの作品がどのようにして生まれ、書かれていったのかを学んだ。
〈おはなし会 プラスコンサート〉 『なつやすみ おはなし会』 『クリスマス おはなし会』 『はるやすみ おはなし会』	平成24年 7月24・25日 (延べ3回) 平成24年 12月24日 (延べ2回) 平成25年 3月27日 (延べ2回)	126人 54人 47人	ストーリーテリング（素ばなし）、絵本によるお話、紙芝居、CDによるクラシック音楽の紹介等を職員が行った。 《対象》4歳～小学生
おはなしひろば	毎月第3土曜日 (7・8・12・3月を 除く。)8回	総計 338人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
図書館リサイクル・デー	平成24年6月21日	116人	保存年限の経過した雑誌、図書を、資源の有効活用を目的として、市民に無償で譲渡した。この事業は環境月間事業の一環として実施した。
書庫に入れるDay —書庫の中にも本が いっぱい—	平成24年5月6日	11人	15歳以上の市民を対象として、普段入ることのできない図書館の書庫を一般公開した。
体験学習・施設見学	平成24年4月～ 平成25年3月	体験2校 見学 4校4回 1園1回	市内の中学校2年生（3・4日間）の体験学習及び市内小学校、幼稚園の見学を受け入れた。

おはなし会ボランティア養成講座	平成24年 9月4日 9月7日 9月15日	受講者 14人	図書館で活躍いただける新たなおはなし会ボランティアを募集し、最初に必要な技術を身につけてもらうことを目的に実施した。受講者のうち4人がボランティア登録を行い活動を開始した。
図書館ボランティア講習会	平成25年 1月24日 2月21日	受講者 17人	図書館ですでにボランティアとして活動されている方を対象にストーリーテリングについての技能向上のための講習会を実施した。
大人の朗読会	平成24年 6月24日 9月11日 12月2日 平成25年 3月19日	参加者 74人	大人の朗読会ボランティアグループによる名作の朗読会を実施した。
小中学生読書感想文の募集 「心に残った一冊の本」	募集期間 平成24年 9月15日 ～30日 入賞者表彰式 平成25年 1月12日	応募作品 189編	市内の小・中学生を対象に読書感想文を募集した。その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。

10 教育費 4 社会教育費 7 資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入館者数 11,993人
- (2) 開館日数 283日
- (3) 1日平均入館者数 42人
- (4) 団体見学 39団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

通常の管理のほかに、次の施設・設備について修繕した。

- (1) 資料館空調設備修繕
- (2) スピーカー配線修繕
- (3) 資料館常設展示室南側ウォールケース及びガラス戸修繕
- (4) 展示ケース照明修繕

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 夏休み子ども歴史教室「兜（かぶと）をつくろう！」

(1) 実施内容

夏休み子ども歴史教室は、夏休み期間中に物作りなどの体験学習を通じて、子どもたちに地域の歴史への理解と関心を深めてもらうことを目的に毎年開催している。今年度は、昨年大好評だった“兜（かぶと）づくり”の規模を拡大して行った。今年度は昨年はキャンセル待ちの子どもたちもいたため定員数を増やし、期間ものばして内容を充実させた。武士たちが身につけていた兜を自分の手でつくる作業を通じて、向日市周辺の地元の武士が活躍していた乙訓の戦国時代について、子どもたちの理解と関心を深める催しとして実施した。

- (2) 開催日時 平成24年7月27日（金）・28日（土）・29日（日） 午後1時30分～4時
- (3) 場所 文化資料館研修室
- (4) 指導者 中西昌史さん（向日市立第4向陽小学校教頭）
〈指導補助〉文化資料館ボランティアの会
- (5) 参加人数 市内在住の小学4年生～小学6年生、24人
- (6) 作品展 完成した作品を7月29日（日）から8月10日（金）まで資料館で展示した。

2 文化講演会

(1) 実施内容

乙訓を中心とした日本の歴史や文化の研究者を講師に迎えて開催する催しである。企画展「むこうし・おとくにの絵図・地図・写真—うつりかわる景観」の関連事業の一つとして、展示内容を別の角度から専門的な研究を踏まえて、江戸時代に向日市内や乙訓地域を描いた絵図を素材にして、村や町の集落や耕地、川や道、山などの景観から、当時の人々の暮らしがどのようなものであったかを中心に、広く一般にわかりやすくご講演いただいた。

- (2) 開催日時 平成24年10月21日（日） 午後2時～4時
- (3) 講師・演題 水本邦彦さん（京都府立大学名誉教授）
「絵図にみる向日市・乙訓の江戸時代」
- (4) 参加人数 72人

3 歴史講座

歴史講座は、乙訓地域の歴史・文化財について、調査や研究の最前線で活躍されている方々を講師に迎え、地域に密着した内容のお話をさせていただき催しである。

今年度は、ラウンジ展示「乙訓の愛宕灯籠」の関連事業として、今も人々の暮らしの中にとけ込んでいる愛宕山について、その信仰のひろがりやゆかりの仏像彫刻の美をお話いただいた。

- (1) 平成24年7月8日（日） 午後2時～4時、86人
「愛宕山と火伏せの祈り」 八木透さん（佛教大学教授）
- (2) 平成24年7月22日（日） 午後2時～4時、56人
「愛宕山をめぐる仏像」 近藤謙さん（京都美術工芸大学非常勤講師）

4 日曜談話会

日曜談話会は、日頃の展示準備や資料調査の中から見えてきた地域の歴史を、文化資料館職員がテーマを決めて、地域の歴史について参加した市民と気軽に語り合う催しである。

今年度は、市制40周年記念事業の一環として、日曜談話会「むこうし・おとくに歴史モノがたり」と銘打ち、「モノ」を取り上げた談話を行った。

- (1) 平成24年8月19日（日） 午後2時～4時、8人
「モノから見える戦地と銃後」 山中美緒（文化資料館嘱託職員）
- (2) 平成24年12月9日（日） 午後2時～4時、9人
「木簡が語る古代」 小田裕子（文化資料館主査）
- (3) 平成25年1月13日（日） 午後2時～4時、9人
「乙訓の竹カゴとその制作組織」 玉城玲子（文化資料館主幹）

5 歴史ウォーク 「古地図に描かれた向日市域を歩く」

(1) 実施内容

企画展「むこうし・おとくへの絵図・地図・写真—うつりかわる景観」の関連事業の一つとして、絵図と町並みや景観を見比べ変遷をたどり、職員の解説を聞いていただきながら散策する催しとして実施した。

(2) 開催日時 平成24年11月18日(日) 午前9時～午後4時30分

※当初の実施日17日(土)が荒天であったため順延して翌日に開催

(3) コース 阪急洛西口駅～物集女地区～寺戸地区～文化資料館～向日～鶏冠井～上植野
(約11km)

(4) 参加費 800円(昼食代・資料代・保険料)

(5) 参加人数 8人

6 2市1町連携歴史ウォーク 「2013西国街道・丹波街道でつなぐ乙訓たてもの探訪」

(1) 実施内容

乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)には、江戸時代～昭和初期の名建築が点在している。近年、国の登録文化財となった建物も少なくないが、これらは普段見学することが難しいものがほとんどである。そこで西国街道と丹波街道という古くからの街道に沿って歩きながら、文化財的価値のある建造物を見たり、内部に入ったりして、乙訓の建物の文化をより深く理解していただく催しとして、2市1町連携歴史ウォークの締めくくりの年として開催した。

(2) コース・参加費

① 丹波街道コース(参加費50円) □□

長岡天満宮大鳥居前〈集合場所〉→長法寺・田村家→長法寺・佐藤家→
粟生・河合家→光明寺〈解散〉【約3.5km】

② 西国街道コース(参加費250円) □

阪急西向日駅東口〈集合場所〉→〔西向日住宅地〕→上植野・中小路家住宅
→南真経寺開山堂→向日町・富永屋→〔六人部家住宅〕→向日神社拜殿〔幣殿・本殿〕
→〔須田家住宅〕→阪急東向日駅〈解散〉【約4km】

※〔 〕内は外から見学

(3) 開催日時

①/平成25年2月17日(日) 午前9時～正午

②/平成25年2月23日(土) 午前9時～午後0時30分

(4) 参加人数(スタッフを含む。)

①36人 ②31人 計67人

7 史跡めぐり「史跡・生野銀山をたずねて」～1200年の歴史ロマン～

(1) 実施内容

近隣地域の史跡、景勝地を訪問し、学び親しむことを通じて、本市の歴史・文化・自然への理解、愛着を深める事業として実施している。今年度は近年ミュージアムが新装オープンされた生野銀山を訪れ、平安時代初期に開かれたとされる大鉱山の歴史に触れた。

(2) 開催日時 平成25年3月17日(日) 午前8時30分～午後5時10分

(3) 行程 向日市役所⇒大山崎IC⇒名神・中国高速⇒播但連絡道路⇒道の駅「あさご」
⇒R312⇒生野銀山⇒播但連絡道路⇒名神・中国高速⇒大山崎IC⇒向日市役所

(4) 参加人数 18歳以上の向日市民 44人

8 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点に、向日市をはじめ乙訓地域の歴史と文化を学ぶ自主学習サークルとして発足した。興味のあるテーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回ずつ学習会を開いている。

今年度は、ラウンジ展「乙訓の愛宕灯籠」において、愛宕灯籠や古文書についての学習・研究成果を披露した。

平成24年4月28日(土)には年次総会を開催した。(登録者 52人)

- 1 班 古代の日本を学ぶ
- 2 班 乙訓地域に残る石造物を訪ねる
- 3 班 乙訓の史跡を訪ねる(寺社を中心に)
- 4 班 市内に残る江戸時代の古文書を読む

9 文化資料館ボランティアの育成

文化資料館ボランティアの会の育成・支援を行い、小学校児童や団体見学者への常設展示案内や部分的に市内の史跡案内などに取り組んだ。平成14年6月からは土曜日の当番制案内も始めている。

随時に館蔵資料の整理を行い、整理した資料を展示するなど、ラウンジ展示への参画も実施した。

また、これらの活動に必要な月例会も開催した。(登録者17人)

活動内容

- ・団体見学の案内等 31件 ・月例会・研修会 10回 ・展示事業の協力 15件
- ・夏休み子ども歴史教室指導補助2日間 ・資料整理事業 随時 ・土曜日の案内延べ 1,498人

10 模型制作工房活動関連事業 「ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る! Part 5」

(1) 実施内容

当館の市民活動グループ模型制作工房が制作した模型の一つ、「昭和35年(1960)頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型」の展示・公開のための事業として、平成16年、平成18年、平成20年、平成22年に次いで、5回目の実施になる。内容は、制作した模型に、市販の鉄道模型のレールを連結し、昭和35年当時の向日町駅に電車が走る風景を再現したものである。今回は、車両を走らせるコーナーの他に、「電車を作ろう!飾ろう!」コーナー、「帽子をかぶって記念撮影!」コーナー、古文書・写真展示「向日町と鉄道」を設け、より多くの年代の方々が楽しめる事業を行った。

- (2) 開催日時 平成24年5月3日(憲法記念日・木)～6日(日)
各日、午前10時～正午、午後1時～3時
- (3) 入場者 第1日(5月3日)148人、第2日(5月4日)142人、
第3日(5月5日)145人、第4日(5月6日)175人 計610人

11 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に関わろうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する市内・近隣地域居住の大学生9人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導し、市内に所在する歴史的建造物である富永屋の調査も行った。

④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

1 調査収集

- (1) ラウンジ展開催のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理
(平成24年度受領図書 194機関 個人7人 522冊)

2 資料の公開

- | | |
|------------------|------|
| (1) 収蔵資料貸出 | 6 件 |
| (2) 写真・模型等二次資料貸出 | 31 件 |
| (3) 資料写真撮影・複写 | 48 件 |
| (4) 考古資料閲覧 | 0 件 |
| (5) 古文書閲覧 | 12 件 |
| (6) 民具閲覧 | 0 件 |

3 常設展・ラウンジ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検・清掃・補修
- (2) 常設展示の一部リニューアル（デジタル画像閲覧コーナーの設置）
所蔵する資料や写真をデジタルデータ化したものを閲覧できるパソコンを、ホール階段部分に新たに設置した。

(3) ラウンジ展示コーナーの展示

ラウンジにおいて、館収蔵品・寄託品を中心にテーマ展を実施した。

ア 「むこうし・おとくにを描いた水彩画」

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| ①「鉄道と向日町」 | 期間：平成24年4月28日（土）～5月27日（日） |
| ②「おとくにの風景」 | 期間：平成24年5月29日（火）～7月1日（日） |
| ③「竹のある向日市の風景」 | 期間：平成24年11月23日（金）～
平成25年1月20日（日） |

イ 「史料でめぐる乙訓・桜の名所」 期間：平成24年3月28日（水）～4月22日（日）

- ウ 「乙訓の愛宕灯籠」 期間:平成24年7月7日(土)～8月12日(日)
- エ 「くらしのなかの戦争展」 期間:平成24年8月11日(土)～9月9日(日)
- オ 「おとくにの竹カゴ」 期間:平成24年11月23日(金)～
平成25年1月20日(日)
- カ 「くらしの道具展」 期間:平成25年1月26日(土)～3月24日(日)
- キ 「ひな人形展」 期間:平成25年2月23日(土)～3月24日(日)
- ※「くらしの道具展」に併催の形でひな人形を展示する。

4 企画展「むこうし・おとくにの絵図・地図・写真—うつりかわる景観」(向日市制40周年記念展示)

(1) 実施内容

平成24年10月は、昭和47年(1972)10月1日に向日町が市制施行により向日市となってから、40年目にあたる。これを機に、市制施行前後の向日市域が撮影されている写真を展示し、人の暮らしや環境の変化を振り返った。あわせて、市域や近隣の乙訓地域を描いた江戸時代の絵図や関連する古文書、明治時代以降の地図を展示し、ふるさとの景観のうつりかわりを紹介した。

江戸時代から、明治・大正・昭和、そして現在へと、人の営みと自然の変化によって、かたちづくられてきた景観をたどりながら、向日市・乙訓の地域性を探った。

(2) 開催期間 平成24年10月6日(土)～11月18日(日) 35日間

(3) 入館者数 1,546人

(4) 関連事業

ア 記念講演会 (③-2参照)

イ 歴史ウォーク (③-5参照)

ウ 展示解説、ワークショップ 平成24年10月7日(日)、11月4日(日)
各日午前10時30分～11時30分

5 市内民家公開展示協力事業

平成20年度に国登録有形文化財となった上植野・中小路家住宅をはじめ、市内の歴史的民家を保存・活用する市民団体の活動に協力した。当館の収蔵資料の活用の意味も含めて、資料を貸し出し、一部展示作業についても協力した。西国街道ひな人形めぐりなど、当館も会場の一つとなり、連動した取組もあった。

展示事業

開催日	場所	内容
平成24年5月3日(木)～5月6日(日)	富永屋	武者人形・五月人形の展示
平成25年2月26日(火)～3月3日(日)	中小路家住宅	ひな人形の展示
平成25年2月24日(日)～3月4日(月)	富永屋	ひな人形の展示

6 重点分野雇用創出事業

(1) 「乙訓郡誌」デジタル化事業

大正期～昭和初期に、当時の最高峰の研究者によって執筆されながら未刊行に終わり、原稿のまま埋もれている「乙訓郡誌」の原稿を文字入力し、調整を加えて、活用できる状態にデジタル化した。

(2) 向日市史web版制作（デジタルスキャン）事業

市の財産である既刊の向日市史3巻のデジタルデータ化と、それらを用いてWeb上での公開やその他の活用をするための準備を行った。

(3) 向日市文化資料館館蔵資料修復事業

館収蔵資料のなかには、破損がひどく今後の保管や展示に耐えないものがあるため、専門的技術を保有する業者に委託して下記の資料を修復し、今後の保管・活用に備えた。

ア 鶏冠井村・久我村・菱川村用悪水絵図〈天明4年・紙本着色〉	1 舗
イ 鶏冠井村・久我村・菱川村用悪水絵図(写)〈天明4年・紙本着色〉	1 舗
ウ 六人部是香桜長歌〈文政9年〉	1 軸
エ 六人部是香主歌旧表装仕立て直し	1 軸

10 教育費 4 社会教育費 8 天文館費

② 天文館管理運営費（天文館）

市制施行40周年記念事業として、10月から、老朽化したプラネタリウム投影機器を最新デジタル方式の機器にリニューアルし、併せて休館日の変更と一般投影回数を大幅に増やした。また、投影番組も全天周映像に一新するなど、幼児から児童・生徒、大人まで楽しめる生涯学習の場として充実を図った。

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影 「おひさま おつきさま おほしさま」	平成24年5月1日～平成24年8月12日
「たいようくんとおつきちゃん」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
「THE MOON 月のふしぎ」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
「宇宙はノンストップ」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
「Wonders of the Universe」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
「宇宙～その大きさを感じてみよう」	平成24年10月1日～平成25年3月31日

(2) 団体予約投影

幼児・小学生低学年番組 「おひさま おつきさま おほしさま」	平成24年4月1日～平成24年8月12日
「たいようくんとおつきちゃん」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
小学生高学年番組 「星とその動き」	平成24年4月1日～平成24年8月12日
「THE MOON 月のふしぎ」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
中学生・高校生番組 「天体の動きと地球」	平成24年4月1日～平成24年8月12日
「宇宙～その大きさを感じてみよう」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
一般番組 「宇宙はノンストップ」	平成24年10月1日～平成25年3月31日
一般番組 「Wonders of the Universe」	平成24年10月1日～平成25年3月31日

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館 日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	357回	1,609人	1,142人	2,930人	5,681人	1,221人	6,902人	233日

イ 団体予約学習投影（平成24年4月から8月は火～金曜日、10月～平成25年3月は水～金曜日）

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	57日	89回	26件	69件	16件	79件	469人	749人	2,572人	3,790人

ウ 一般投影（平成24年4月から8月まで毎月第2土・日曜日、10月から平成25年3月は、水・木曜日（1回）と全土・日曜日5回）及び冬休みと春休み期間中は一般投影枠を増加して投影）

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大人	小中学生	幼児	合計
計	99日	268回	1,140人	393人	358人	1,891人

(3) 特別企画

ア 「満天の星空とぶら寝たリウム」

日 時 平成24年8月8日（水）～8月12日（日）午後3時30分～

内 容 リニューアルを迎えるにあたり、開館当初から使用してきた光学式投影機による今夜の星空案内と満天の星空のもとでの音楽のしらべ

入場者数 341人

イ クリスマスコンサート

日 時 平成24年12月22日（土）午後4時～午後5時

内 容 ピアノによる生演奏と当日の星空解説

出 演 出口 千夏さん ほか

入場者数 73人

ウ 特別投影 「2012向日市健康ウォーク」（市制施行40周年記念事業）

日 時 平成24年11月3日（土） 午前10時30分～午後0時30分

内 容 「2012向日市健康ウォーク」の参加者で、プラネタリウムを希望された方を対象にリニューアルした新しい投影機による新番組を投影

参加者数 71人

エ プラネタリウムリニューアルに伴う活用研修会

日 時 平成24年11月9日（金）・11月30日（金）午後4時～午後5時

内 容 今後の学習指導に活かしてもらうため、市内小学校教員を対象にプラネタリウムの新しい学習番組や投影機器の説明、市制作DVDの投影等を実践する研修会を開催

参加者数 18人

2 天体観望会関係

(1) 定例天体観望会

目 的	星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催		
開 催 日	毎月第2土曜日	午後7時～午後9時	定員40人
開催回数	11回（9月は中止）		
天体観測・星空解説ともに開催	6回		
星空解説のみ開催	5回		
応募人数	497人	（市内： 238人、市外： 259人）	
参加人数	322人	（市内： 157人、市外： 165人）	

(2) 特別天体観望会

ア 金環日食観望会

目 的	向日市では282年ぶりとなる金環日食を観望することにより、太陽、月、地球への関心を深めることを目的に開催		
日 時	平成24年5月21日（月）	午前6時～午前9時	
会 場	勝山公園内		
内 容	日食メガネや日食用下敷き及び太陽投影版に太陽像を投影して観望		
参加人数	31人		

イ 金星の太陽面通過観望会

目 的	金星の太陽面通過という珍しい天文現象を観望することにより、宇宙への興味と科学に対する関心を深めることを目的に開催		
日 時	平成24年6月6日（水）	午前9時30分～午後1時30分	
会 場	向日市天文館天体観測室		
内 容	望遠鏡に設置した太陽投影版に太陽像を投影して観望		
参加人数	229人		

3 講演会関係

(1) 市制40周年記念講演「太陽の魅力と金環日食」

目 的	5月21日早朝に起きる世紀の天体ショー「金環日食」を前に、金環日食が起こる仕組みや太陽がどんな星かなど、この機会に広く市民に天文への興味を深めてもらうことを目的として開催		
日 時	平成24年5月21日（土）	午後1時30分～午後3時30分	
会 場	向日市民会館 第1会議室		
内 容	配布資料やパソコンによる動画をスクリーンに投写しながら「太陽の魅力と金環日食」を講演		
講 師	滋賀大学教育学部准教授 大山真満氏		
入場者数	64人		

(2) 天文館プラネタリウムリニューアルオープン記念講演「太陽系パノラマ紀行」

目 的	プラネタリウムのリニューアルオープンを記念して、特別講演会を開催
日 時	平成24年10月1日（月）午前10時20分～午前11時20分
会 場	天文館プラネタリウム室
内 容	新しく導入した最新デジタル方式投影機「メディアグローブⅢ」を 作動させながら、宇宙の魅力や自身の研究を講演
講 師	向日市天文館名誉館長 河北秀世氏（京都産業大学教授、神山天文台台長）
入場者数	76人

4 天文教室関係

金環日食の楽しみ方教室

目 的	金環日食の安全な観察方法を紹介するとともに、観察時の注意喚起を行うことを 目的として開催
日 時	平成24年5月11日（金）～13日（日） 午後3時30分～午後4時40分
会 場	プラネタリウム室及び天文館ロビー・星見台
内 容	日食観察方法の紹介DVD上映及び日食観察用の簡易道具作りと実践
講 師	天文館職員
参加人数	44人

5 天文館有識者の会関係

天文館の活性化を図るため、「向日市天文館有識者の会議」を発足し、会議を開催した。

日 時	平成25年2月27日（水） 午後1時30分～午後3時
会 場	天文館会議室
内 容	天文館の概要や平成25年度事業計画について
参加人数	天文館有識者の会7人

10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの普及、条件整備に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修機会の拡充に努めた。

（主な事業内容）

- 第31回市民総合体育大会（5月20日～7月1日）
- スポーツ交流フェア（10月14日）
- D oスポーツ i n向日（11月18日）
- 地区社会体育振興会等への支援
- ワイワイスポーツクラブへの指導

1 スポーツ推進委員 12人（男6人、女6人） ※平成24年4月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) 主に教育委員会、スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
総 会	5月22日	長岡京市中央生涯学習センター	10人
評 議 員 会	5月8日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	9月20日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月26日	京都府乙訓総合庁舎	3人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	7月19日	大山崎町体育館	9人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	12月11日	向日市民体育館	9人
女性委員交流会	11月21日	市民体育館	7人

(5) その他研修会等

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
第45回京都府スポーツ推進委員研究大会	6月24日	南丹市園部公民館他	11人
平成24年度スポーツ推進委員研究協議会	3月1日、2日	京都府丹後文化会館他	延べ12人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率		開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向陽小学校	45	80	31	15	68.9%	18.8%	171	297	142	267	83.0%	89.9%
第2向陽小学校	186	338	149	63	80.1%	18.6%	173	307	123	283	71.1%	92.2%
第3向陽小学校	186	340	120	112	64.5%	32.9%	174	320	114	282	65.5%	88.1%
第4向陽小学校	189	339	166	140	87.8%	41.3%	175	318	92	279	52.6%	87.7%
第5向陽小学校	188	338	153	108	81.4%	32.0%	168	310	69	236	41.1%	76.1%
第6向陽小学校	188	340	179	268	95.2%	78.8%	130	212	87	130	66.9%	61.3%
合 計	982	1,775	798	706	81.3%	39.8%	991	1,764	627	1,477	63.3%	83.7%

(2) 中学校体育施設 (単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況		
	開放回数	使用回数	稼働率
	夜間	夜間	夜間
勝山中学校	254	209	82.3%
西ノ岡中学校	266	216	81.2%
寺戸中学校	246	186	75.6%
合 計	766	611	79.8%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設 (単位：回)

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
多目的運動広場（Aグラウンド）	18	352	6	64	33.3%	18.2%
テニスコート（2面）	868		362		41.7%	
卓球場	828		387		46.7%	
陸上トラック	439		1		0.2%	

(4) 小学校グラウンド夜間照明保守点検

ア 点検箇所 向陽小学校、第4向陽小学校

イ 点検料 388,395円

3 スポーツ振興事業

(1) 第31回市民総合体育大会の開催（（公）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子	9チーム 153人	5月20日
女子	2チーム 33人	6月3日
テニス	42人	5月20日
ボウリング 団体の部	14チーム 42人	6月3日
個人の部	0人	
バドミントン ダブルス	76人	6月17日
バレーボール 男子	3チーム 30人	6月17日
女子	7チーム 90人	
ゲートボール	7チーム 31人	6月24日
卓球 団体戦	7チーム 28人	6月24日
個人	60人	
ソフトテニス	64人	7月1日
合 計	649人	

(2) スポーツ交流フェア（(財)向日市スポーツ文化協会との共催事業）

期 日 平成24年10月14日（日）

会 場 市民体育館

《参加チーム数等》

種 目 名	参加チーム（人）	種 目 名	参 加 者
交 流 試 合		軽スポーツ紹介コーナー	
ド ッ ズ ビ ー	3チーム（50人）	キ ン ボ ー ル	（26人）
ソフトバレー（地区）	16チーム（102人）	スリータッチボール	（37人）
ソフトバレー（トリム）	4チーム（18人）		
合 計			233人

(3) スポーツ指導者研修会

研修会名	実 施 日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
「いくつになっても遅くない体力づくり」	1月19日（土）	市民会館	市内スポーツ団体指導者	44人	京都府立医科大学 教授 木村 みさかさん

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 （野球1、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺2）		6 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	53 人
向日ブルージャガーズ	野 球	19 人
向日ポパイズ	野 球	18 人
向陽オックス	野 球	17 人
向日ファイターズ	野 球	28 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	70 人
ホップバスケットボールクラブ	バスケット	26 人
KOYOイーザーミニバスケットボールクラブ	バスケット	43 人
向日市ジュニアバドミントン教室	バドミントン	50 人
向日市柔道教室	柔 道	31 人
向日市剣道スポーツ少年団	剣 道	19 人
日本正武館合気道	合 気 道	15 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	48 人
育成事業補助金額	473,700 円	合 計 437 人

(2) (財) 向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 51,000,000円
(内訳) 運営補助金 35,536,000円
事業補助金 15,464,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11地区
種目団体 9団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下(市町村対抗)に選手を派遣した。 延べ374人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第35回京都府民総合体育大会	平成24年9月) 平成25年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンドゴルフ、駅伝競走	ソフトバレーボール 卓球バレー

6 軽スポーツフェア

Doスポーツin向日(向日市まつり)

- (1) 日時 平成24年11月18日(日) 午前10時～午後3時
- (2) 会場 向日町競輪場走路内グラウンド
- (3) 内容 ショートテニス、グラウンドゴルフ、輪投げ、ドッジビー、ティボールバッティング
- (4) 指導者 スポーツ推進委員
- (5) 参加者数 425人

7 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成23年度から5年間の指定管理者に(財)向日市スポーツ文化協会を指定している。

指定管理料 29,164,000円

- (1) 体育室稼働率 88.5%
- (2) トレーニング室利用状況 17,344人(開室日数341日)
- (3) 満足度の調査

8 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を(財)向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 552,300円